

J R 東 労 組 盛 岡

No, 7 3
2021 年 3 月 1 2 日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目 16 番 31 号
発行人 佐々木克之
編集人 情 宣 部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

東日本大震災から10年 JR総連との意見交換会開催

「絆・思いやり・助け合い」を再確認!

3 月 5 日～7 日、J R 総連は被災地を訪れ、現地踏査と組合員との意見交換会を行いました。盛岡地本からも地本、一関支部、釜石支部から代表者が参加し、改めて 10 年前を捉え返しながら「絆・思いやり・助け合い」の大切さを確認し合いました。



【あの瞬間を振り返って】

- ・ 分会事務所に行けば誰かがいると、多くの組合員が分会事務所集まってきた。
- ・ 自転車で組合員宅、OB 会員宅、避難所を回り、安否確認を行った。組合員との深い繋がりがあったからこそできた。
- ・ 自分も被災して落ち込んだが、東労組の仲間が前を向かせてくれ、復興に向けて頑張ることができた。
- ・ 大船渡線乗務中であり、脱線転覆が頭をよぎった。警報サイレンで津波が来ることを知り、乗客からのアドバイスで指定避難所よりも高いところへ非難したことによって、乗客と自分の命を守ることができた。

【組合員支援、地域支援、鉄道の復旧に向けて】

- ・ J R 北海道労組が 4 t トラックで駆けつけてくれるなど、全国の仲間から支援をうけた。J R 総連、J R 東労組の温もりあふれる行動に心を打たれた。
- ・ ボランティア運動に全国から J R 総連の仲間がきてくれた。それが地域との信頼を得るまでにつながった。
- ・ 山田線は J R としての復旧とはならなかったが、地域のみなさんと共に鉄道での復旧を実現できたことは大きな財産となった。

JR東労組に結集し、手を取り合い、赤字コロナ禍の難局を乗り越えよう!